



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW53

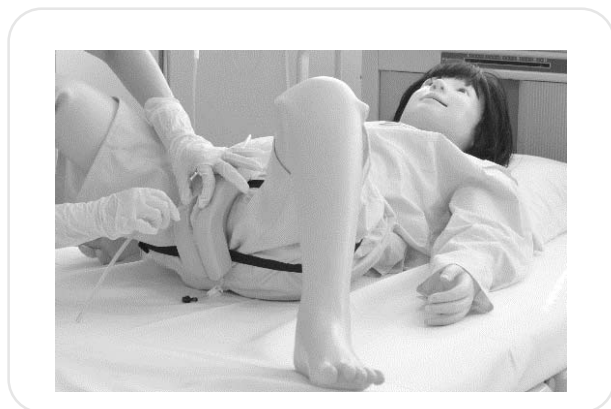
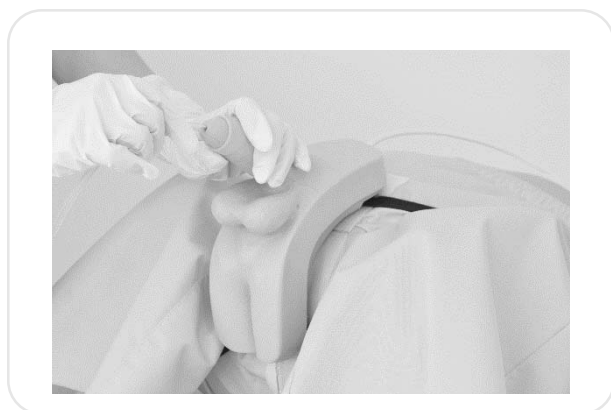
男性導尿・浣腸モデル 装着式

MW54

女性導尿・浣腸モデル 装着式

MW55

男女導尿・浣腸モデル 装着式



取扱説明書

目次

- はじめに・ご注意…………… P. 01
- ご使用の前に…………… P. 02
- 実習の準備
準備（導尿）…………… P. 03-04
準備（浣腸）…………… P. 05
- 実習
実習の手順・ご注意（導尿）…… P. 06-07
実習の手順・ご注意（浣腸）…… P. 08
- 後片付け
後片付け（導尿）…………… P. 09-10
後片付け（浣腸）…………… P. 11-12
後片付け（装着用ズボン）…… P. 12
- 消耗品の交換
包皮の交換…………… P. 13
- 清掃・組立（女性のみ）…… P. 14-17
- 故障かな？と思ったら…………… P. 18

はじめに

この度は「男性導尿・浣腸モデル 装着式」「女性導尿・浣腸モデル 装着式」および「男女導尿・浣腸モデル 装着式」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、導尿・浣腸手技の上達を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育の実習教材としてご使用ください。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による破損や事故に関しましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特 長

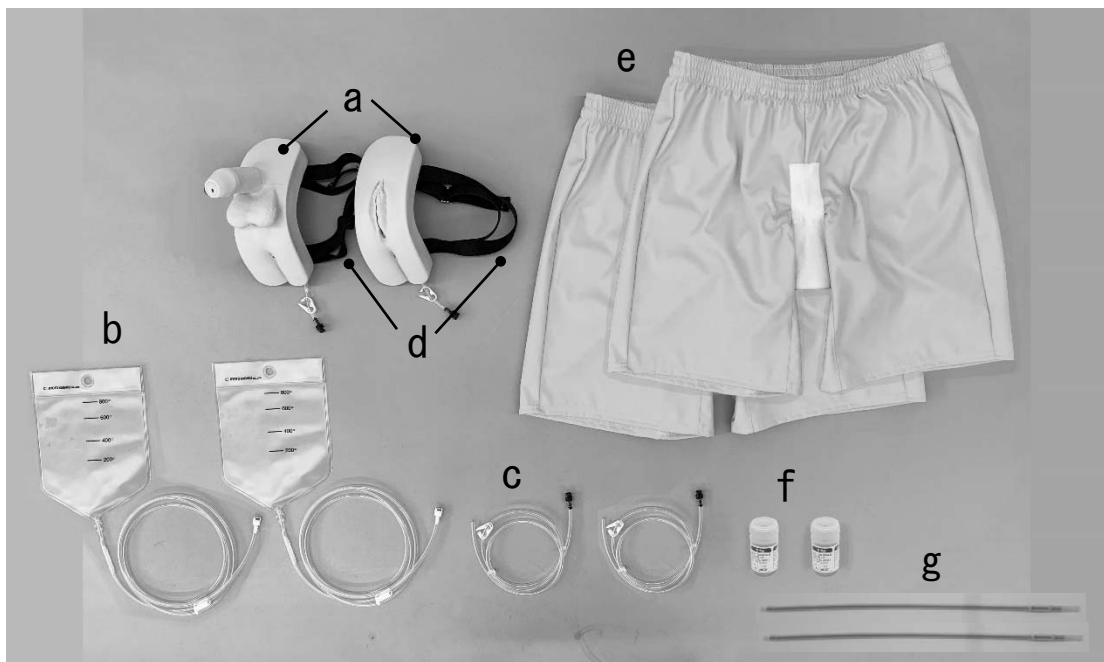
- 導尿・浣腸の基本手技を学ぶことができ、装着して患者さんの立場を疑似体験できます。
- 男性導尿・浣腸モデル装着式は、包皮を引き下げて尿道口を消毒する実習も行えます。
女性導尿・浣腸モデル装着式は、当社従来品に比べて性器部が生体により近いやわらかさになりました。
- カテーテルを正しく挿入することで、水（模擬尿）の排出を確認できます。バルーンカテーテルを使用した実習も行えます。
- 実際のグリセリン浣腸液を使用することができます。

注 意

● 取り扱いにご注意ください。 落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。	● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。 ボールペン、サインペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。
● 印刷物をモデル表面に置かないでください。 モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。 樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。	● 汚れは水又は中性洗剤で拭き取ってください。 モデル本体の汚れは水又は中性洗剤で拭き取り、よく乾燥させてベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
● 高温多湿を避けて保管してください。 使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。 変形や故障の原因となります。	● 表面が変色する場合があります。 長期間使用されていない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。
● ご使用後は水を抜いてください。 ご使用後は、チューブ内の水を抜いてください。水を入れたままにしておくと、カビやチューブの変色、故障の原因になります。	● モデル本体は乾燥させて保管してください。 使用後は風通しの良い場所でモデル本体を充分乾燥させてから保管してください。 湿ったままの状態では保管されますと、カビの原因になります。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



写真は MW55 のものです。

MW55 男女セットをご購入の場合

- a. モデル本体(男女).....各 1 体
 - b. 貯水袋.....2 点
 - c. 排水用チューブ.....2 点
 - d. 装着用ゴム紐(本体に装着).....2 点
 - e. 装着用ズボン.....2 点
 - f. 潤滑剤.....2 点
 - g. メンテナンス用カテーテル.....2 点
- 取扱説明書

MW53 男性導尿・浣腸モデル または
MW54 女性導尿・浣腸モデルをご購入の場合

- a. モデル本体(男女どちらか).....1 体
 - b. 貯水袋.....1 点
 - c. 排水用チューブ.....1 点
 - d. 装着用ゴム紐(本体に装着).....1 点
 - e. 装着用ズボン.....1 点
 - f. 潤滑剤.....1 点
 - g. メンテナンス用カテーテル.....1 点
- 取扱説明書

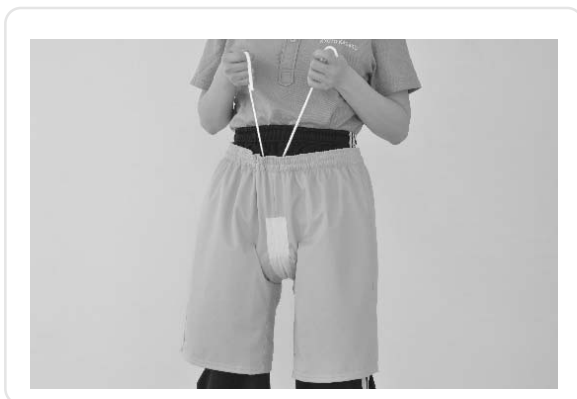
① モデル本体の装着

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. 装着用ズボンを履く

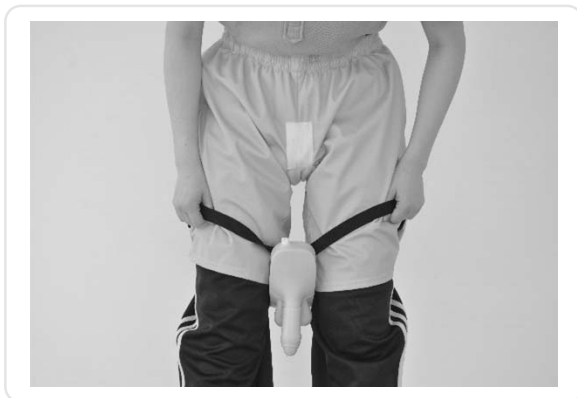
装着用ズボンを履きます。

腰紐を結ぶことでウエストを調整することができます。



2. モデル本体を装着

モデル本体にはゴム紐がついており、ゴム紐の輪に両足を通すことで装着できます。



3. 装着位置の調整

モデル本体の裏と装着用ズボンにはマジックテープがついています。モデル本体の装着位置を調整してください。

ゴム紐の締めつけがきついまたは緩い場合は、ゴム紐の長さを右足側のバックルで調整してください。



右足側

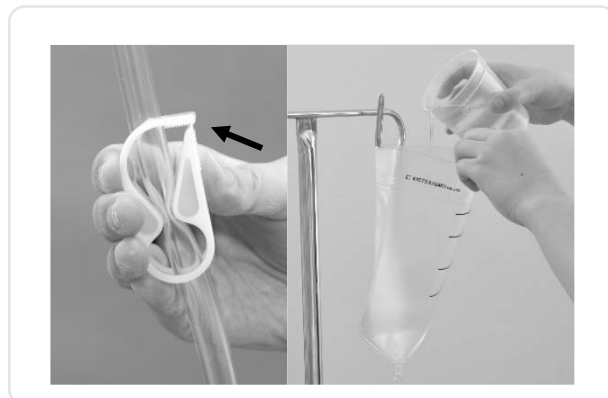
② 貯水袋の接続

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. 貯水袋に水を入れる

貯水袋をガートル架に引っかけてチューブコックを閉じ、水を入れます。

貯水袋とモデルの高低差は60cmを目安としてください。高低差が大きすぎると尿道口から水漏れが生じる可能性があります。



2. 貯水袋とモデル本体を接続する

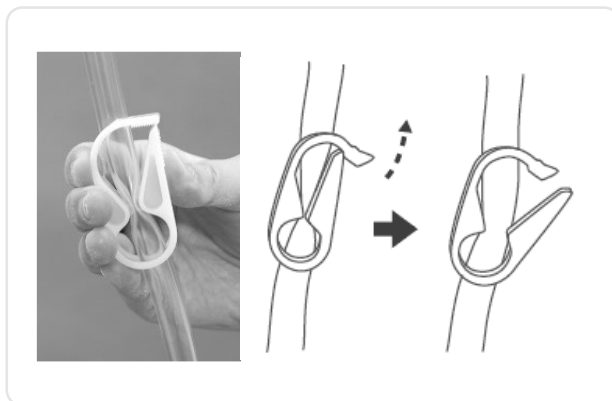
モデル本体の上側のソケット（白）に、貯水袋についているチューブ先端のチューブプラグ（白）を差し込んでカチッというまで右に回し固定します。（白・白をつなぎます）

外す場合は、チューブプラグを左に回し引き抜きます。



3. 給水

貯水袋のチューブについているチューブコックを開いてください。



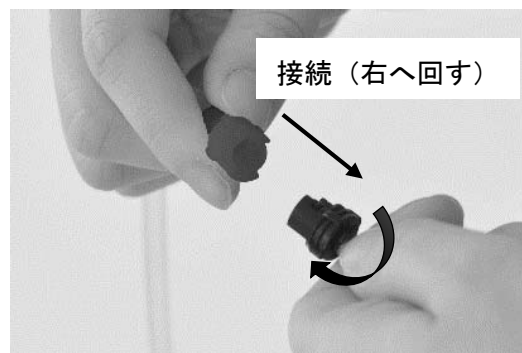
① 排水用チューブの接続

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. 排水用チューブとモデル本体を接続

モデル本体の下側にあるチューブ先端のソケット（黒）に、排水用チューブ先端のチューブプラグ（黒）を差し込んでカチッというまで右に回し固定します。（黒・黒をつなぎます）

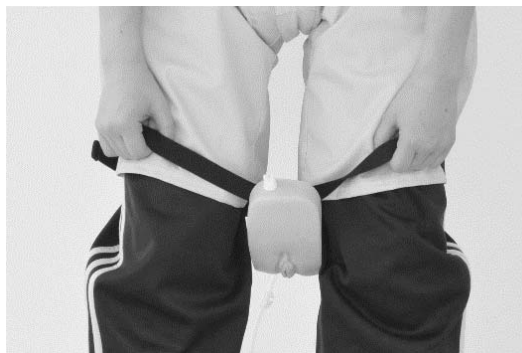
外す場合は、チューブプラグを左に回し引き抜きます。



2. モデル本体を装着

装着用ズボンを履き、モデル本体を装着します。

（P. 3 を参照）



3. チューブ先端をバケツに入れる

浣腸液を注入すると、チューブを通してバケツへ排出されます。



導尿実習の手順（男性）

1. 尿道口の消毒

包皮を引き下げて尿道口を消毒します。
包皮が滑りにくい場合は、包皮の内側に付属の潤滑剤を少量塗布してください。尿道口の消毒実習は消毒薬の代わりとして水をご使用ください。



2. 潤滑剤をカテーテルに塗布

トレー等に付属の潤滑剤を少量たらし、カテーテルの先端 約 5 cmを目安に塗布します。必ず付属の潤滑剤をお使いください。



注意

付属の潤滑剤以外は使用しないでください。ゼリー状の潤滑剤は水に触れると潤滑性が奪われるため、カテーテル抜去時に内部部品（弁）に負担をかけ、消耗が早くなります。

使用するカテーテルは、16Frを推奨しています。16Frよりも太いカテーテルを使用すると、内部部品（弁）の消耗が通常よりも早くなるためご注意ください。

3. カテーテルの挿入

- 陰茎を 90 度近くまで持ち上げて、尿道口からカテーテルを挿入すると、途中で抵抗を感じます。抵抗を感じたら陰茎の角度を 60 度まで下げて挿入することで、スムーズにカテーテルを挿入できます。
- カテーテルの先端が適切な長さには達すると、カテーテルより水（尿）が流出します。カテーテルは約 20 cm挿入できます。
- バルーンカテーテルを用いた膀胱留置の実習もできます。バルーンは排尿が確認できた深さから約3cm挿入したのちに膨らませてください。バルーンを膨らませる位置が弁に近すぎる場合は弁が破損する恐れがあります。



注意

1ヶ月以上ご使用にならなかった場合などには尿道内部の潤滑剤が不足してカテーテル挿入時に抵抗を感じる場合があります。その際は潤滑剤を塗布した付属のメンテナンス用カテーテルを挿入し水（尿）を流出させてください。

バルーンカテーテルをご使用の場合、バルーン内容量が10mL以下を推奨しています。バルーンを10mLより大きく膨らませるとモデル内部の部品が壊れます。

4. カテーテルの抜去

カテーテルを抜去すると水は止まります。必要に応じて、流出した分の水を貯水袋に足してください。

導尿実習の手順（女性）

1. 尿道口の消毒

尿道口の消毒実習は消毒薬の代わりに水をご使用ください。



2. 潤滑剤をカテーテルに塗布

トレー等に付属の潤滑剤を少量たらし、カテーテルの先端 約 5 cmを目安に塗布します。必ず付属の潤滑剤をお使いください。



注意

付属の潤滑剤以外は使用しないでください。ゼリー状の潤滑剤は水に触れると潤滑性が奪われるため、カテーテル抜去時に内部部品（弁）に負担をかけ、消耗が早くなります。

使用するカテーテルは、14Frを推奨しています。14Frよりも太いカテーテルを使用すると、内部部品（弁）の消耗が通常よりも早くなるためご注意ください。

3. カテーテルの挿入

尿道口からカテーテルを挿入し、適切な長さに達すると水（尿）が流出します。カテーテルは最長約10cm挿入できます。

バルーンカテーテルを用いた膀胱留置の実習もできます。バルーンは排水が確認できた深さから約3cm挿入したのちに膨らませてください。バルーンを膨らませる位置が不適切な場合は内部部品が破損する恐れがあります。



注意

1ヶ月以上ご使用にならなかった場合などには尿道内部の潤滑剤が不足してカテーテル挿入時に抵抗を感じる場合があります。その際は潤滑剤を塗布した付属のメンテナンス用カテーテルを挿入し水（尿）を流出させてください。

バルーンカテーテルをご使用の場合、バルーン内容量が10mL以下を推奨しています。バルーンを10mLより大きく膨らませるとモデル内部の部品が壊れます。

4. カテーテルの抜去

カテーテルを抜去すると水は止まります。必要に応じて、流出した分の水を貯水袋に足してください。

浣腸実習の手順

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. 体位をとる

左側臥位で実施してください。



2. 潤滑剤を浣腸容器に塗布

トレー等に付属の潤滑剤を少量たらし、浣腸の先端約5 cmを目安に塗布します。必ず付属の潤滑剤をお使いください。



注意

付属の潤滑剤以外は使用しないでください。ゼリー状の潤滑剤は水に触れると潤滑性が奪われるため、抜去時に部品に負担をかけ、消耗が早くなります。

3. 浣腸液の注入

チューブを約5 cm挿入し、浣腸液を注入します。チューブを7 cm程度挿入すると、直腸前壁にあたり、挿入できない構造になっています。

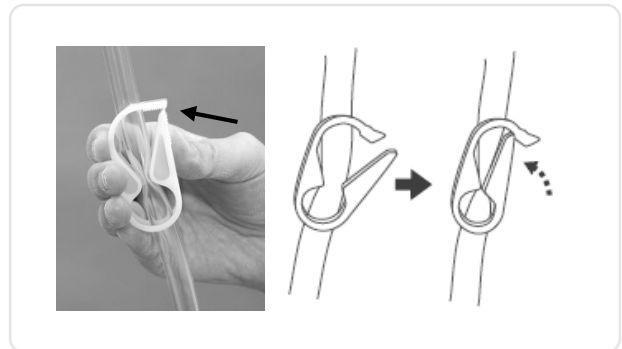


使用した水の排出

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. チューブコックを閉じる

貯水袋に取り付けられているチューブコックを閉じます。

**2. チューブプラグを外す**

チューブプラグ（白）をつまみ、左へ回してから引き抜きます。

**3. 水（残尿）を排出する**

本体を傾けた時に水（残尿）が出るため、尿道口を乾いた布等で押さえて、水分を取ります。

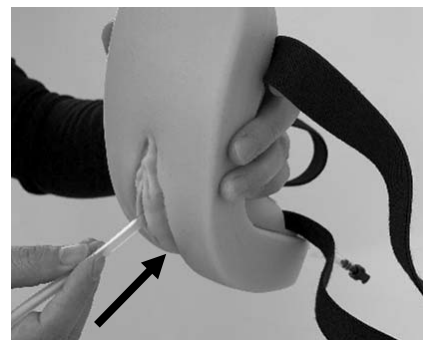


使用した水の排出

- 4. モデル本体と装着用ズボンを脱ぐ**
モデル本体、装着用ズボンの順に脱ぎます。



- 5. 本体内の水を排出、乾燥**
付属のメンテナンス用カテーテルを挿入し、本体に残った水を排出した後、十分に乾燥させてください。

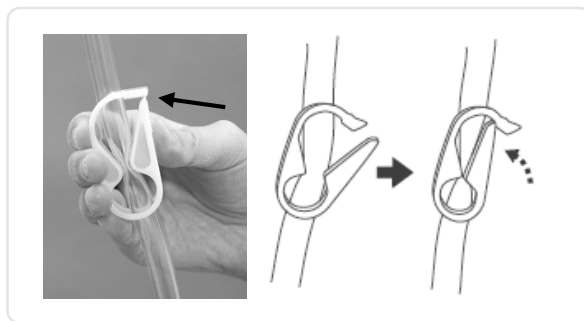


使用した浣腸液の排出

男性導尿・浣腸モデル/女性導尿・浣腸モデルで共通の内容です。

1. チューブコックを閉じる

排水用チューブのチューブコックを閉じ、水が漏れないようにします。



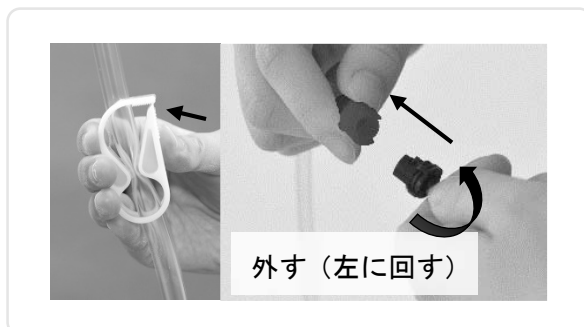
2. モデル本体と装着用ズボンを脱ぐ

モデル本体、装着用ズボンの順に脱ぎます。



3. チューブコックを閉じ、チューブプラグを外す

チューブプラグを外した時の水漏れを防ぐため、モデル本体のチューブコックを閉じてからチューブプラグ（黒）を外します。



4. チューブコックを開き、排水する

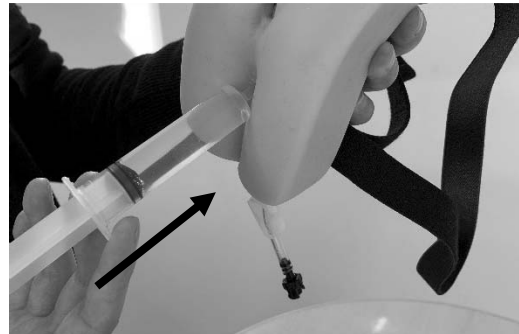
モデル本体と排水チューブのチューブコックを開き、排水します。



使用した浣腸液の排出

5. 本体チューブに水を通す

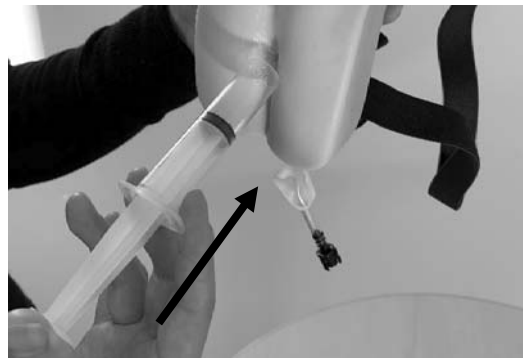
お手持ちのシリンジを使い、水を充填したシリンジを肛門部に入れて、1, 2 回ほど水を通します。



6. 本体チューブ内の水を排出

空気を入れたシリンジを肛門部に入れて、空気を通して排水します。

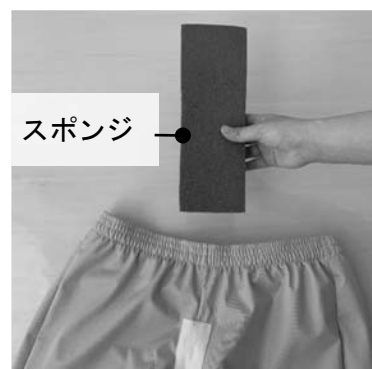
その後、十分に乾燥させてください。



使用したズボンの洗濯

1. 装着用ズボンからスポンジを取り外す

装着用ズボンの内側のメッシュ生地の袋にスポンジが入っています。洗濯の前に取り外します。



2. 洗濯

タグの洗濯マークに従って手入れをしてください。液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができます（目安：家庭用洗濯機の標準コース以下の弱さ）。日陰に吊るして干してください。



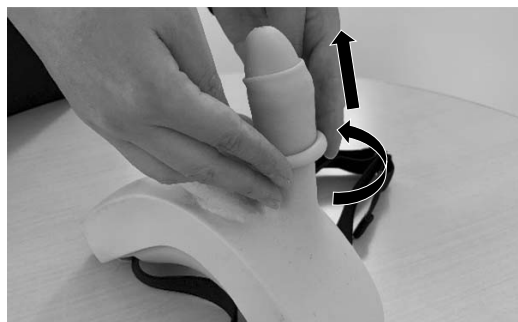
包皮の交換（男性）

1. 取り外し

包皮を取り外します。
包皮内側の潤滑剤が足りない場合、根本から上へ巻き取ると簡単に取れます。

注意

引っ張り過ぎないようにしてください。
伸びたり破れたりします。



2. 取り付け

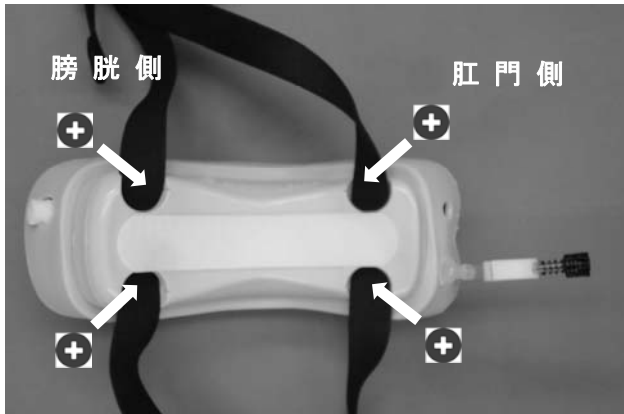
包皮の内側に付属の潤滑剤を少量塗布します。
包皮をかぶせ下へスライドさせると取り付けることができます。



女性導尿・浣腸モデルはカテーテル手技の際に使用する潤滑剤がモデル内面に溜まってしまうため、実習後は分解して清掃を行って下さい。 * 男性導尿・浣腸モデルは分解する必要はありません。

1)分解

モデルを裏返しにしてベルトの下に隠れている4本のネジを緩めて裏蓋を取り外して下さい。



分解前

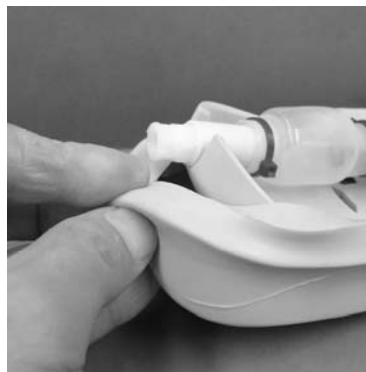


分解後

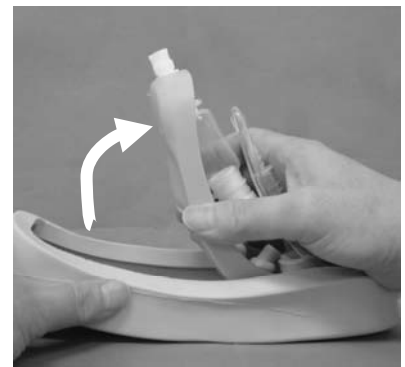
取り外したネジは無くさないようにして下さい。

2)皮膚の取り外し

- ① 膀胱側の皮膚を伸ばしながらチューブを抜きます。
* 皮膚を強く引張らないで下さい。



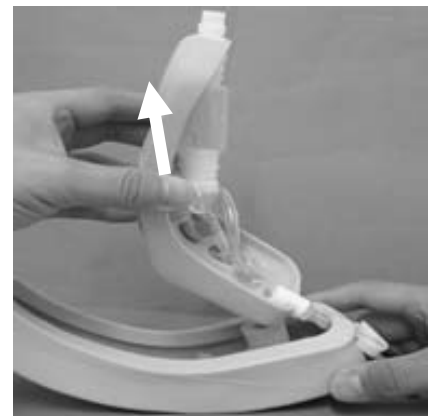
- ② 内部部品を引き起こして皮膚と分離します。



- ③ 肛門側の皮膚を伸ばしながら皮膚を取り外します。



- ④ 内部部品を持ち上げて皮膚と分離させます。



3)清掃

布、ペーパータオルに水で薄めた中性洗剤をつけて内部に溜まっている潤滑剤を拭き取って下さい。

*シンナー等の溶剤は使用しないで下さい。

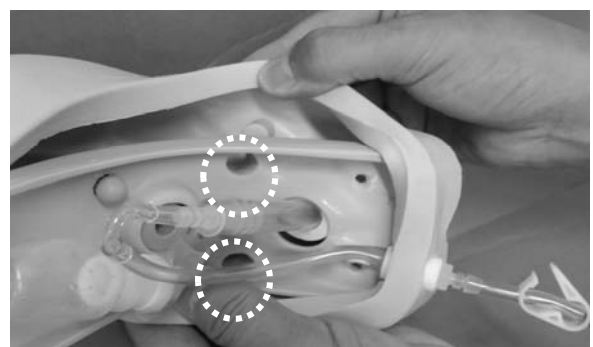


4)皮膚と内部部品との組立て

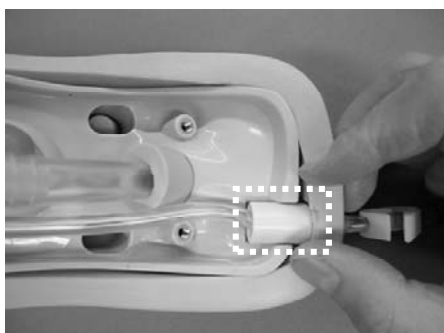
① 尿道口部裏面の突起が内部部品にはまっていることを確認して下さい。



②皮膚を正しい位置に合わせるため、皮膚の内側にある2つの突起を内部部品の孔にはめ込んでください。

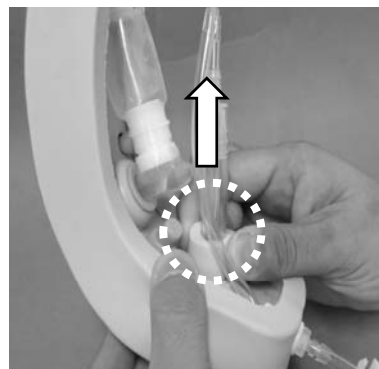
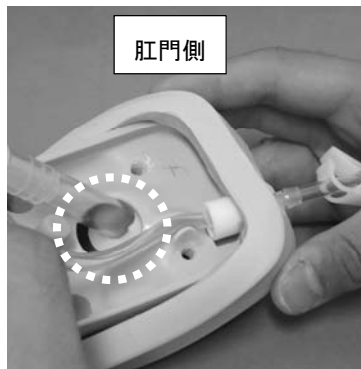
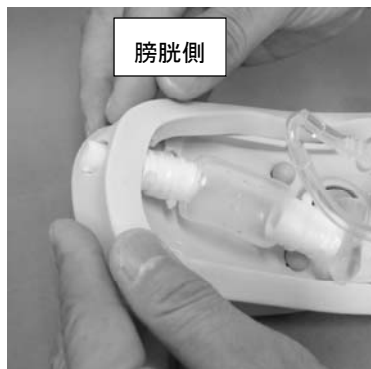


③肛門側のチューブを内部部品に取り付けます。



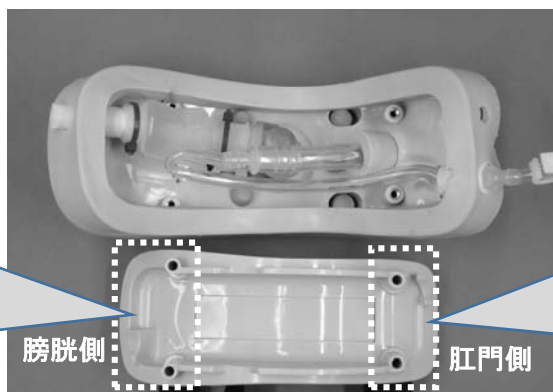
肛門側のチューブにはチューブ抜け防止のために円筒形の部品が装着されています。内部部品のへこみに円筒形の部品を取り付けて下さい。

- ④ 内部部品に皮膚を取り付けます。
 肛門側の凸部分は内部部品にしっかりと押し込みます。

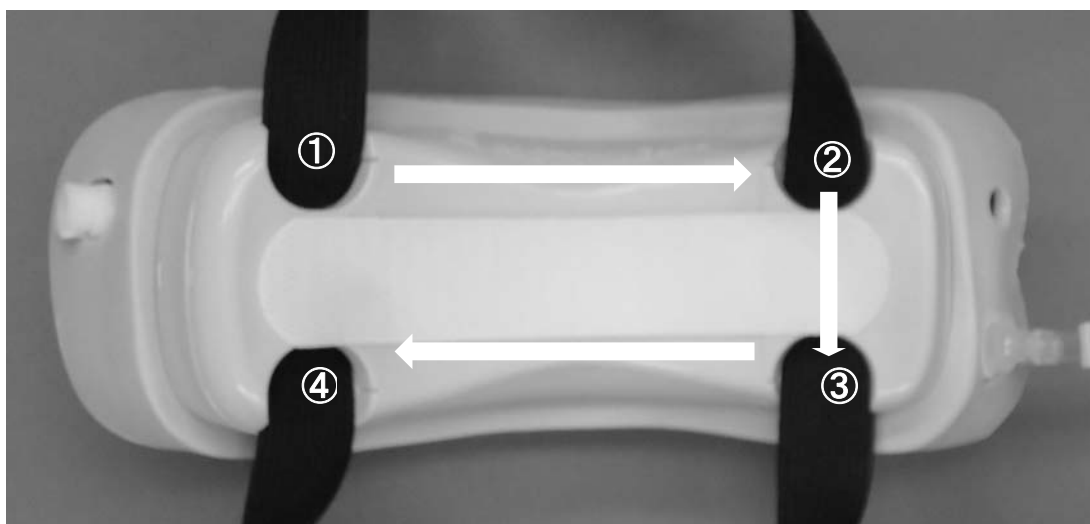


5) 本体と裏蓋との組立て

- ① 両端の形状に注意しながら、向きを合わせて本体に裏蓋を取り付けます。



- ② 4本のネジを締めます。以下写真のように1から順に4までネジを取り付けます。



本体に裏蓋に取り付け、しっかりと押さえつけてから 1 から 4 の順にネジを取り付けます。



①ネジは裏蓋と本体が外れない程度に軽く締め
おいて下さい。



ネジを締めている間に、本体と裏蓋、皮膚がずれる場合があります。
そのような場合は、皮膚を優しく引っ張るなどして、右の写真の様に調整し直して下さい。



最後に軽めに締めおいた①のネジも締めます。ネジは軽い力で回らなくなった時点で締めるのを止めて下さい。

*** ネジを締める時はドライバーが回らなくなった時点で止めて下さい。**

ネジを締め終わったら、写真のように押してみても、



ネジが浮き上がるようでしたら、浮き上がったネジを追加で締めて下さい。



ご使用中にトラブルが発生した場合は、下の表にしたがって確認してください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店もしくは(株)京都科学 (TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071) までご連絡ください。

導尿

症状	原因	対策・対処
カテーテルを挿入しても水が出てこない。	給水用チューブのチューブコックが閉じている。	チューブコックを開いてください。
	カテーテルの挿入が深すぎる。	水が排出される位置までカテーテルを引き戻してください。
モデル本体に貯水袋を接続してチューブコックを開くと、尿道口から自然に水が漏れる。	モデルと貯水袋の高低差が大きい。	モデルと貯水袋の高低差を60cm程度に調整してください。
	内部の部品が消耗している。	修理が必要です。 (株)京都科学 (TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071) までご連絡ください。
カテーテルを挿入すると抵抗感がある。	尿道内の潤滑剤が不足している。	潤滑剤を塗布したメンテナンス用カテーテルを挿入して排水してください。

浣腸

症状	原因	対策・対処
浣腸液を注入しても水が出てこない。	モデル本体に接続されているチューブコックと排水用チューブのチューブコックが閉じている。	チューブコックを開いてください。
浣腸液を注入すると、モデル本体から水が漏れる。	内部の部品が消耗している。	修理が必要です。 (株)京都科学 (TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071) までご連絡ください。



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

消耗品

コード番号	部品名
11381-800	潤滑剤（導尿・浣腸他用）



潤滑剤（導尿・浣腸他用）

2020.02



株式会社 **京都科学**

<http://www.kyotokagaku.com>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388

京都市伏見区北寝小屋町15番地

TEL : 075-605-2510

FAX : 075-605-2519

■東京支店

〒113-0033

東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG 本郷三丁目ビル2階

TEL : 03-3817-8071

FAX : 03-3817-8075